

犬島周辺の文化財の保護と周知活動で地域の活性化

犬島貝塚調査保護プロジェクトチーム

活動の目的

犬島周辺には貝塚・精錬所をはじめ、魅力的な文化財が数多く存在するが、十分な周知が得られていない。周知を得るためにはサポーターや理解者を増やす必要がある。地域の過疎が進む中、文化財の保護は地域の方との協力体制はもとより、周辺地域の多様なサポーターの養成及び彼らとの連携が必要となる。そうした連携を構築することで、新たな関係性が構築される可能性が高く、それは地域の活性化へ繋がるはずである。そうした中において、島嶼部における遺跡保護の一つのあり方を構築する。

活動の内容及び経過

これまで2008年のプロジェクトチーム結成以来、5次にわたる発掘調査および、パトロール&養成講座を実施してきた。2017年度も、5/3パトロール&養成講座(26回)、清掃活動(犬島)などを実施した。その間にも周辺島嶼部との連携をつとめ、里海探検隊など各種活動に参画した。また、東区公民館、各種学会、アイランダー2017の犬島ブースなどに、参加した。研究活動(情報収集)については継続して行った。犬島貝塚に関するパンフレット(Welcometo1万年前)を作成し、イベントなどの際に配布し周知を図った。特に子供向けのわかりやすい内容となるように心掛けた。そして、活動に関するチラシや今回作成したパンフレットを各地に配布し、特に遺跡保護に関する周知活動を重点的に行った。

活動の成果・効果

今回、小規模とはいえ地域活動の形として、本活動を継続、発展させていくうえで、活動を一目でわかりやすく伝えるパンフレット(Welcometo1万年前)を作製した。どのようなことをしているか、わかりやすい内容となっており、好評であった。

パトロール活動および清掃活動には地権者なども参画しており、地域住民・サポーター・地権者といった多様なコミュニティの構築がなされている。長期にわたって島にかかわることのできる関係性の維持に繋がっている。2017年も継続してパトロール活動を実施している。さらに周辺地域の島々の文化財への注意喚起を促すことにも繋がっており、島嶼部の文化財を保護するという考え方が広まっている。アイランダー2017では、犬島住民との意見交換や、関東サポーターとの連携および交流を継続させつつ、周辺離島との連携をはかり、有識者による各種助言の共有をはかった。配布用に持ち込んだパンフレットは2日間で200部以上配布できており、また配布に伴い、意見交換を行うこと



で有益な情報を得ることができた。

また、岡山県遺跡保護調査団と連携し、地権者含め、保護にむけての対策協議を重ね、市教育委員会への保護にむけての申し入れを行った。史跡の多い、岡山市内において優先順位などの問題もあるが、きわめて重要な一歩であると判断している。

今後の課題と問題点

活動はなんとか10年継続することができたが、サポーターは決して多くない、一部スタッフの高齢化も進んでいる。また持続可能な形を構築する上で拠点形成なども課題となっている。特に2017年度末で岡山県外サポーターの半数に、職務や個人的な異動が発生した。異動先の多くは、中四国エリアのため、実際の作業を継続する意味では大きな力となるが、関東圏を中心とする企画を行う上で今後課題が発生する可能性がある。地域還元(文化祭等への参加)が、毎年ではなく2年に一度程度の活動にスライドしているが、関東圏についても継続のあり方についても課題を残す形となった。

- 代表者：遠部慎 ●所在地：岡山市南区浦安本町
- TEL：086-261-1583
- URL：http://blogs.yahoo.co.jp/s_schliemann
- 設立年：2006年 ●メンバー数：30名